

○第 145 回（令和 6 年 5 月 29 日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 施設整備費補助金令和 7 年度概算要求について	（特になし）	
2 筑波大学インフラ長寿命化計画（行動計画）の更新（案）について	① 民間企業でも工場の老朽化対策の工事費が値上がりしており、コストの試算に際し十分考慮していただきたい。	① ご指摘の通りだと思うので、適宜試算を見直したい。
3 ゆりのき保育所における入所児の定員数に係る見直しについて	（特になし）	
4 学際サイエンス・デザイン専門学群設置に係る法人規則等の改正等について	① 海外分校の独立性はどの程度あるのか。 ② 海外分校の管理運営システムの仕組みについて、対外的に簡単に説明できるようになっているとよいのではないかな。	① 本部から、マレーシア校に対して指示するのではなく、マレーシア校からの依頼に応じて本部で対応するという姿勢で運営していきたいと考えている。 ② マレーシア校の将来のビジョンについて、パンフレット等を製作し、積極的に広報活動を行いたい。

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 第 4 期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の再申請の審査結果について	（特になし）	
2 令和 6 年度学群及び大学院入学試験結果について	① 理工系の女子学生の人数についてはどうか。 ② 学群の志願者数が増えたとの話があったが、その理由や他大学の傾向について分析した結果	① 人数は資料に記載の通りだが、様々なイベントを行う等、理工系の女性の学生を増やすための努力をしているところである。 ② 他大学の情報はまだないが、本学としては、高校への入試広報や様々なイベントを実施する

	はあるのか。 ③ 学群の留学生数が少ないが、留学生を増やすためにどのような取り組みを行っているのか。また、目標値はあるのか。 ④ 日本の民間企業も外国人を増やすために、海外で面接等の採用活動を行っている。日本の大学に優秀な留学生が入学し、卒業後の進路として日本企業を選択できるような連携ができるとよいのではないか。	とともに、新たな志願者を獲得するために、インターナショナルスクール等への開拓も行っている。 ③ 令和 7 年度から国籍を問わない外国学校経験者の入試制度を創設し、それを定員の 5%とすることを予定している。人数は、2033 年までには 10%、2040 年には 20%とすることを計画しているが、優れた学生を海外から受け入れるためにカリキュラムの改善や広報に取り組みたい。 ④ 海外の協定校とのプログラムに企業にも参加いただくことはできるのではないかと思います。また、本学においても、授業科目の提供や大学院の研究指導、インターンシップ等で企業に参画いただけるとありがたい。
3 第 228 回及び第 229 回教育研究評議会報告について	(特になし)	

○第 146 回（令和 6 年 6 月 24 日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和 5 年度財務諸表について	(特になし)	
2 令和 7 年度国立大学法人運営費交付金概算要求（案）について	① 資金の運用益はどうなっているのか。 ② 国大協で国立大学の窮乏状況をアピールする声明を出していたが、個々の大学では要求しにくい人件費等の必要経費の上昇分を国大協でまとめて要求することはできないのか。また、	① 昨年度は約 1 億円の運用益があり、損益計算書上では経常収益に含まれている。 ② 国大協の声明を出した後、今年度の骨太方針の中に「運営費交付金」という文言が入った。これがアウトプットとしてどのような施策になるのか、しばらくは政府の動きを注視した上で

	国からの配分が減っているため、授業料を上げるを得ないということをもっとアピールしたらどうか。	対応を検討したい。
3 国立大学法人法第三十三条の三における土地（常盤台職員宿舎跡地）の貸付けにかかる文部科学大臣の認可申請について	（特になし）	
4 大学の学びの先取り履修システムの構築について	① 対象科目は既存の開設科目とのことだが、大学生は対面で、高校生はオンラインのハイブリッド方式で授業を実施するのか。 ② 将来は優秀な学生をスカウトするようなシステムに発展させようという趣旨か。	① 当面はオンデマンドの科目と夏休み等の集中講義で高校生が実際に筑波大学に来て対面で受けられる科目に限定して始めたいと考えている。 ② その通りである。
5 大学病院改革プランの策定について	（特になし）	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和5年度余裕金の運用実績等について	① この運用益で大学債の利払いを賄えるのか。 ② 運用実績について他大学と比較できるのか。	① 大学債は施設等の整備に使用しており、その収益で返すことを想定している。 ② 本学は上手く運用できている方だと思う。数年前と比較して運用益が増加している。また、今年度から運用の専門家を雇用している。
2 「筑波大学社会的価値創造債」事業の施設整備状況について	（特になし）	
3 第230回教育研究評議会報告について	（特になし）	

○第 147 回（令和 6 年 9 月 20 日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 資金運用関係規則の改正・新設及び令和 6 年度余裕金の資金繰計画・資金運用計画の一部変更について	① 私立大学だと卒業生の団体の支部を各地に設立し、会費として寄附金を集めているが、筑波大学ではどのようなになっているのか。	① 筑波大学では、卒業生の組織が乱立している状態なので、それらを 1 つの連合会として組織できないかと考えている。

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等の更新について	① 資料の作成作業に手間がかかると思うが、文部科学省等で確認され、役に立っているのか。 ② 毎年ではなく、2～3年に一度とする又は監事等の学内チェック体制を強化して簡便化を図るといった提案をすることはできないのか。	① 文部科学省において改善を図るための委員会があり、チェックされている。 ② 5年間実施したので、そろそろ各大学に任せる形にしてもよいのではないかという議論を国大協でもしている。
2 評価指標の年次別目標値（マイルストーン）の修正について	（特になし）	
3 令和 7 年度国立大学法人運営費交付金等概算要求について	① 物価高や人件費のベースアップが続く中で、国大協がアピールし、運営費交付金が 3 % 増えたところから聞いたが、基幹経費が増えたわけではないということか。 ② 授業料を上げようという話は出てこないのか。 ③ 骨太の方針に運営費交付金を増やすことが記	① 運営費交付金全体で 3 % 増ということであり、基幹経費が 3 % 増ということではない。運営費交付金全体として 3 % 増額が認められれば玉突きで人件費等に回せるのではないかとということで財務省に要求していると聞いている。基幹経費の増加についてもまだ要求し続けており、附属病院に関しては厚生労働大臣にも相談しに行った。 ② 授業料については、本学独自の事情等も踏まえて慎重に検討したいと考えている。 ③ 基幹経費の増額に持ち込めるかどうかは、ここ

	載されたので、安心していただけたのだが、財務省との折衝は厳しい状況なのか。 ④ 日本ではプロジェクトが増えすぎているという問題もあり、大学にとってよくないということが理解されていないようなので、働き掛けていただきたい。	からが勝負だと思っているので、各所に足を運び、説得していきたいと考えている。 ④ 今回は、マスメディアも含め協力的な反応があるので、これから秋に向けてさらに働き掛けていきたいと考えている。
4 開発研究センターの評価結果について	① 開発研究センターの評価結果は良（更新可相当）として報告されることが多いと思うが、総数は増やす予定なのか。廃止するものがないと新しいものもできないように思うが、どのような方針としているのか。	① 開発研究センターの数は現状程度がちょうどよいと感じている。共同研究の組成を行うマネージャーが大学の教員や企業からヒアリングしてマッチングを行っており、よいものがあれば組成し、現状の数になっている。なお、開発研究センターから発展して上の段階の組織になったものもあれば、廃止したものもある。
5 第231回及び第232回教育研究評議会報告について	(特になし)	
6 その他	① 運営方針会議は、不透明な点が多いので、もう少し様子を見てから検討した方がよいのではないか。	① 運営方針会議を設置することが国際卓越研究大学制度において必須とされているため、その申請に備えて、本学でも運営方針会議の設置に向けた検討を始めなければならないという事情がある。

○第148回（令和6年11月27日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 「国立大学法人筑波大学運営方針会議」の設置について	① 運営上の課題が増えている中で、学長一人ではなく、運営方針委員でサポートして経営方針を決定するという点は理解できるが、運営方針会議が方針の立案と議決権を併せ持つ点に違和	① 法律において、運営方針会議が議決権を持つことは定められている。方針の立案は役員会以下でじっくりと熟議を重ねて策定し運営方針会議に諮ることが必要だと思われる。

	感がある。	
2 特別の課程（履修証明プログラム）に係る単位授与について	（特になし）	
3 高等研究院規程の制定について	① 研究ユニットの公募をする場合に、研究したい内容の提案を受けて採用することはないのか。 ② オープンファシリティ推進機構は、高等研究院にどのように関わっているのか。また、実験装置だけでなく、デジタル系のリソースも含まれているのか。 ③ 外部評価を実施するとあるが、高等研究院の目的からすると、評価を行うことが難しいように思われるが、実施時期や評価の観点についてどのように考えているのか。 ④ 何度も議論を重ねたとのことだが、特にどのような点について議論したのか。	① 自発研究ユニットにおいて、既に本学に在籍している教員に対して、大型の外部資金を獲得した等の理由で一定期間研究に専念することを希望する者からの提案を受けて審査を行い、フェローとして認定する仕組みも考えている。 ② オープンファシリティ推進機構は、学内にある機器や装置等の共用化を筑波地区全体に広めることが役割であり、参画センターが大きな装置を導入する際のサポートを行うことを想定している。デジタル関係は別の所掌となるが、今後はDX化を進めていると聞いている。 ③ 例えば、自発研究ユニットでは、参画教員の研究エフォートが上がっているか、高い研究成果を上げているかといった点や文科省に示したKPI等を想定している。また、評価の実施時期については、5年を1タームとして中間評価と最終評価を行うことを想定している。外部評価の時期や項目については、また審議いただく予定としている。 ④ 組織の新設であったため、この組織をどのような位置づけにするかという点等について特に議論した。

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和5年度実績に係る組織評価の結果について	① 特筆先進取組に選出された組織に対して、若干の資金援助があるとのことだが、例えば機器が優先的に使えるといった資金以外のメリットはないのか。	① 現時点ではないが、今後に向けて関係組織と相談し検討したい。なお、褒められること自体が励みになる、他の組織のグッドプラクティスが共有されることで刺激になるといった効果もある。
2 三井不動産との産学連携の推進に関する協定について	(特になし)	
3 令和6年度余裕金の運用実績等(上半期)について	① 特定余裕金について、目標とする利率よりも現状の利率がかなり低い、この差を埋めるためにどのような対策を考えているのか。	① 分散投資と言いつつも、現状では国内の債券と円建預金にしか投資していないので、国内外の株式や海外の債券も入れることを目指したい。
4 第233回及び第234回教育研究評議会報告について	(特になし)	

○第149回(令和6年12月23日)

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 附属桐が丘特別支援学校(本校)の改組の方針について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和6年度「中間決算」について	① 高度医療による利益幅が小さいことが問題なのか。 ② 厚生労働省はこのような状況を問題として認	① 高度医療のために使用する特に高額の医薬品について、使用に係る人件費によって利益がないか持ち出しになる医薬品が増えている。大学病院として高度医療をやめることはできないので、過剰な負担がかからないように調整している。 ② 大学病院が赤字であるということは認識され

	識しているのか。 ③ 新型コロナウイルス感染症の補助金はもう残っていないのか。 ④ 今の日本の医療経済は破綻しそうになっており、根本的に考え直さないといけないと思う。筑波大学には、このような状況を改善できるような工夫を行っていただきたい。 ⑤ AMED で新型コロナウイルス感染症のワクチン開発の援助を行っていたが、予算が足りず、途中で研究をあきらめなければならなくなり、その投資が無駄になってしまったということがあった。限られた研究開発費をどのように効率的に使うのかということについて、政府に働きかけていただきたい。 ⑥ 診療報酬の問題と大学の附属病院での研究費の問題を分離して考え、それぞれの省庁に要求していくことが必要ではないか。 ⑦ 現在、日本の製薬会社は日本で新薬を出すことが本当に難しく、欧米よりも新薬が出るのが非常に遅れている。これは大きな問題なので、考え方を変えて、海外から買うのではなく、自分たちで稼げるようにならないといけないと感じている。	ているようだが、赤字の規模まで正しく認識されていないようであった。引き続き厚生労働省に働きかけを行っていきたい。 ③ 単年度限りのものなので、もう残っていない。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどない状況である。 ④ 大学病院の高度医療人材育成・研究力向上のための事業が今年度の補正予算で予定されているので、本学も申請する準備を進めている。 ⑤ 今の診療報酬だと赤字からの脱却だけで精一杯であり、研究や教育に取り組むための余力がない状況である。まずは診療報酬を改定してもらい、余裕をもって研究や教育に取り組むことができる状況にしたい。 ⑥ ご意見は承知した。 ⑦ 海外から買うのではなく、我が国で開発した新薬を買ってもらえる状況にならないといけない。科学技術に対する投資が少なすぎたということが一番大きなダメージになっているのではないか。
--	--	--

2 筑波大学統合報告書 2024 の作成・公表について	① 女性が活躍していることはとてもよいと思うので、もっと目立つようにするとよいのではないか。 ② 冒頭の特集部分について、よりアピールしたいものを先頭に持ってくる等順番を工夫するとよいのではないか。 ③ 役員の紹介のページがあるが、特に学外理事の意見は重要で企業も重視する部分だと思うので、学外理事についてもっとアピールするとよいのではないか。 ④ 筑波大学の附属学校は、日本の初等中等教育を引っ張る大きな役割をずっと担っていると思うので、もっと宣伝した方がよいのではないか。次回以降ご検討いただきたい。 ⑤ SDGs と大学発ベンチャーやセンターは投資家へのアピールになると思うので、もう少し全面に出してもよいのではないか。	①～⑤ いただいたご意見を踏まえ、検討したい。
3 第 235 回教育研究評議会報告について	(特になし)	
4 その他	① 世界大学ランキングにおいて、マレーシアの 2 つの大学が日本の大学を抜いたがどのように考えているか。また、筑波大学がマレーシアに分校を設置した理由は何か。	① この 2 大学は完全にインターナショナルステージに立っている大学で著名な研究者がそれなりに入ってきている。また、多様性も重要な要素であると思われるが、日本の大学はこれらの点が弱い。 マレーシアに分校を設置したのは、英語が共通語であるという点が大きい。

	② 国際卓越研究大学制度への申請に関して、現状を教えてください。	② 間もなく2回目の公募が開催され、締め切りは5月の見込みである。申請の準備はすでに始めており、3月頃には経営協議会に付議する予定としている。
--	----------------------------------	---

○第150回（令和7年1月20日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 中期計画の変更について	(特になし)	
2 令和6年度学内補正予算(案)について	(特になし)	
3 令和7事業年度における償還計画について	(特になし)	
4 域の設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について	① 域を設置することで階層が増え、組織の風通しが悪くなることはないのか。	① 一部の組織にはすでに任意の組織として域が設置されており、設置されていない組織でも専攻や学類等の単位でマネジメントが行われているので、今回の改正により組織の風通しが悪くなることはない。

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 国立大学法人筑波大学運営方針会議の設置申請時期変更について	(特になし)	
2 定量的評価指標に基づく組織評価結果による資源の配分について	(特になし)	
3 令和7年度国立大学法人運営費交付金等予算案について	① 共通政策課題分(基盤的設備等整備分)の全学情報基盤システムとは何か。	① 情報システム関係のリース代である。これまで、システム関係のリース代に関する予算措置

	② 企業においても、情報システム関係には費用を要しており、この程度の金額では足りないと感じている。国から国立大学に対して特別な予算措置がないとはますます厳しくなるのではないか。	はなかったが、物価が高騰していることを受け、新しく予算措置されるようになったものである。 ② ご指摘のとおりである。金額は足りないが、新たな項目として予算措置されるようになったことだけでも前進したと思う。
4 開発研究センターの審査結果について	(特になし)	
5 第236回教育研究評議会報告について	(特になし)	
6 その他	① 他の大学でも授業料の値上げが検討されているが、筑波大学ではどのように考えているのか。国立大学には、経済的に厳しい学生を受け入れてきたという実績があるので、可能な限り授業料の値上げは実施しないでいただきたい。また、実施する場合も学生への経済支援とセットにしていきたい。	① 授業料の値上げについては、値上げが必要な理由は当然のこと、大学の個性や学生の層も十分考慮する必要がある、非常に複雑な問題だと思うので、慎重に検討したい。

○第151回（令和7年3月19日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 役員等の報酬について	(特になし)	
2 令和7年度学内当初予算（案）等について	① 使途を特定しない基幹経費が減少しており、人件費等の経常経費が増加している現状では、基幹経費の増額や授業料の値上げのどちらかが	① その通りである。授業料の標準額の算出根拠が曖昧であるため、授業料値上げの説明がしづらくなっている。文科省は標準額の算出根拠を明

	必要である。また、国立大学の授業料値上げに対する内外からの批判を各大学に背負わせるのではなく、政府が授業料の標準額を上げるか、運交金を上げるかを行わなければならないという認識を共有する必要があるのではないか。 ② 施設整備費については、インフラ設備の長期的な補修や建替えの計画を基に予算要求を行っているのか。 ③ 民間企業の定期昇給とベースアップの割合を考慮すると、令和6年度から令和7年度の予算における人件費の増加率が低いように思えるが、この予算額で足りるのか。 ④ 外部資金と運営費交付金の合計金額は順調に増えていっているのか。 ⑤ マレーシア校による収入は今後さらに増加することが見込まれるのか。 ⑥ マレーシア校に関する予算も円で計上しているということは、為替の影響をその都度受けるということか。	らかにしたうえで、標準額を上げなければならないと考えている。 ② 建物等を点検し点数化して優先順位を決めたリストを作成しているが、毎年文科省の予算にも傾向があるため、それを考慮して予算要求を行っている。ライフラインの老朽化が進行しているので、文科省とも相談しながら対応を進めたい。 ③ 令和6年度の人事院勧告に対応した人件費の増加分については、予算額に反映させているが、令和7年度の人事院勧告の影響額は予測できない。 ④ 外部資金の獲得額は年々増加している。運交金が1%ずつ削減される中でも、本学では、事業費は年3%成長を達成できている。 ⑤ 順調に学生が増えていけば、授業料収入が増加することが見込まれる。その分支出も増える見込みではあるが、十分対応できると考えている。 ⑥ マレーシア校に係る授業料はそのままマレーシア校で使用しているが、一度日本に入る分は為替の影響を受けるので、タイミングを見計ら
--	--	---

		って、両替等をしていきたいと考えている。
3 令和7年度資金繰計画（案）及び資金運用計画（案）について	① アメリカの政権交代により株式の変動が激しくなっているが、これまでとは違うリスクを考えているのか。	① ご指摘のとおりではあるが、短期的な収支にとらわれずに、しっかりとポートフォリオを作って長期的に運用していくことが肝要だと考えている。
4 筑波大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）の更新（案）について	（特になし）	
5 プロボスト候補者の推薦方法に関する規則の制定等について	① プロボストは、その趣旨から考えると、学長が信頼できる者であることが最大の選考論点になるので、学長に拒否権しかないシステムには違和感がある。 ② 「本部にプロボストを置く」という規定は再考した方がよいのではないか。	① 学長がプロボストの選考を依頼することができるという規定であり、必要がない場合には選考を依頼しなくてもよい。今後、学外者が学長に就く場合等にこの規定が必要になると考えている。 ② 法人規則等の他の規定も確認し、検討したい。
6 職員就業規則等の一部改正等について	（特になし）	
7 給与関係規則の一部改正等について	（特になし）	
8 職名追加等に伴う法人規則等の一部改正について	（特になし）	
9 ホウ化水素研究センターの設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について	（特になし）	
10 オリンピック研究教育センターの設置および設置に伴う法人規	（特になし）	

則等の一部改正について		
11 総合技術室の設置及び法人規則等の改正について	① 全学で技術職員の所属組織を統合するという ことだが、病院の技術職員も含まれるのか。 ② モチベーションのためにも技術職員のキャリア パスを検討することは重要だと考える。 ③ 総合技術室と情報マネジメント室とで組織の 英語表記を統一した方がよいのではないか。	① 対象は教室系の技術職員なので、病院は入ら ない。 ② キャリアパスを設計するための議論を行うこ とも総合技術室の目的の一つとしている。 ③ 再度検討したい。
12 情報マネジメント室の設置に ついて	① 審議 2 の予算案において、DX の推進に係る予 算が少ないことが気になった。	① 大学の財政が厳しい状況ではあるが、必要な施 策を実施できるよう財源を措置したい。
13 研究戦略イニシアティブ推進 機構の規程の一部改正について	(特になし)	
14 高等研究院規程の一部改正に ついて	(特になし)	
15 国立大学法人筑波大学附属病 院長候補者の選考に関する規程等 の一部改正について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和 7 年度役員・役職教員につ いて	(特になし)	
2 国際卓越研究大学の構想概要 について	① アピールすべき部分は、控えめな表現にせず、 もう少し目立つようにするとよいのではない か。 ② 実績について、最新のデータでないと思われる ものがあるので、最新のデータに更新した方が	①～③ いただいたご意見を踏まえ、申請の準備を 進めたい。

	よいのではないか。 ③ 審査員にしっかりと理解してもらえるように、説明を工夫していただきたい。	
3 特別措置によるウクライナの学生の進路の状況について	(特になし)	
4 国立大学法人筑波大学経営協議会学外委員からの提言・質問等に対する大学側の対応・回答について	(特になし)	
5 第237回及び第238回教育研究評議会報告について	(特になし)	
6 その他	(特になし)	